

東日本大震災で被災した地域の子どもたちを応援する
「エンジェル・ピース」チャリティー企画

被災地の子ども達が描いた絵をモチーフにした
「チャリティーTシャツ」を
宮城県石巻市立保育所児童にプレゼント

企業ご協賛のお願い

特定非営利活動（NPO）法人 グラウンドワーク三島
「エンジェル・ピース」プロジェクト

企画趣旨

『エンジェル・ピース』は、東日本大震災で被災した東北の子どもたちを長期的また継続的に支援する活動組織として、2011年7月11日に発足いたしました。

母体となっている組織は、日本で長年の実績を持つ特定非営利活動法人グラウンドワーク三島（静岡県三島市芝本町1番43号；理事長：緒明實、事務局長：渡辺豊博）で、これまで数多くの支援活動実績（別頁）があります。

このたび、『エンジェル・ピース』では、地震と津波で最も多くの犠牲者が出た宮城県石巻市の市立保育所（24ヶ所）に通う保育児童（約2000名）を対象として、2012年の夏休み期間中にTシャツをプレゼントする準備を行っています。

東日本大震災で被災した数多くの子ども達の心を元気にし、希望ある明日へとつないでいくためのプロジェクトが『エンジェル・ピース』です。

そのミッションをカタチにするため、心の問題が深刻化する被災地の子どもたちの心のケアのために、私たちは、見ているだけでなく「子どもたちの笑顔が、明日をつくるチカラになる！」との思いのもと、行動を起します。

このTシャツは、被災に遭遇した子どもたちが『エンジェル・ピース』の活動に対して、感謝の意味を表すために描いてくれた絵をモチーフに制作されたものですが、これを被災地の保育所児童が身近に着用することで、「全国みんなが応援しているよ！」というメッセージに繋がることを期待しています。

今回の「チャリティーTシャツ」プレゼントに向け、多くの方々に趣旨をご理解いただき、ご協賛を賜りたくお願いする次第です。

御社の社会貢献の一環として、ご協力賜れば誠に幸甚に存じます。

ご検討の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

エンジェル・ピース
代表 古藤田 邦彰

『エンジェル・ピース』の活動実績

NPOグラウンドワーク三島（『エンジェル・ピース』の母体）は、これまで被災地への救援物資の提供にとどまらず、震災直後より被災した子ども達の“心のケア”として、被災地の避難所に送迎バスを送り富士山の麓・伊豆の温泉に招待する「心を元気にするショートツアー」（全11回；参加者数・約500名）を実施。

また震災による小中学生の勉学の遅れを取り戻すため、大学生を被災地に派遣して子ども達の学習支援と心のケアを行う「大学生出前寺子屋教室」（先生役ボランティア約100名）を継続。

「子どもを元気に！スポーツ交流」（参加者100名以上）では、主に静岡県の小中学生とサッカー交流を行い、仲間の輪が広がっています。

昨年夏休みには「富士山に登って元気になろうツアー」（参加者約90名）を敢行し、被災した子ども達の心と体を癒して参りました。

特に震災直後の4月以降実施している「心を元気にするショートツアー」では、伊豆の温泉で温まり、美味しい食事で元気を取り戻し、子ども達の多くは富士山を初めて観ることで感動してもらっています。

こうした地道な活動が被災地でも評判を呼び、今では参加希望者のウェイティングが続いている状態です。

このほかにも、昨年のクリスマスには震災で25名の児童を亡くした石巻市立釜小学校（石巻市大街道2-5-1；津田浩校長）の全校生徒（511名）にクリスマスプレゼントとしてチャリティーTシャツを贈呈。

さらに、津波で移動用マイクロバスを失い、試合はもとより練習にも困っていた35年の歴史を持つ石巻市のサッカー少年団「石巻開北FCファンタジスタ」（代表：小野寺千代寿）にはマイクロバスを寄贈。

震災で練習の場所も発表の場も失った上、親が職を無くして他県に引越し人数が減り壊滅寸前だった「石巻少年少女合唱隊」に援助。
クリスマスコンサートなど、様々な活動でジョイントを行っています。

そのほか、「震災を考えるシンポジウム」や「チャリティーコンサート」など多様なイベントを開催しています。

こうした活動の一環として、子ども達が御礼メッセージとして描いてくれた絵をモチーフにデザインしたTシャツ（大人用@2,000、子供用@1,680）を制作し販売。その売上げ収益金は、被災地の子ども達を応援する上記の活動に使わせて頂いており、これまでに多くの企業様のご協力を頂戴しています。

『エンジェル・ピース』Tシャツの紹介

エンジェル・ピースのTシャツは、これまでに応援した数多くの子どもたちが、御礼メッセージとして描いてくれた絵をモチーフにして著名デザイナーがアレンジし、制作されたものです。

子ども達が描いた色鮮やかな花・虹・ハートが、大きな困難にも負けず、将来、美しいハートの大輪を咲かせるという前向きなメッセージが託された

“ハート・ブロッサムTシャツ”としても販売中。
その収益金は、被災地の子ども達の元気を応援するために使われています。



ご協賛内容（金額）と協賛メリット

【協賛内容】

Tシャツ（ジュニアサイズ；@1,680/枚）100枚を1ユニットとして（16万8000円）何口でもお受けさせていただきます（上限20口）。

- ・ 1口（100枚） ¥168,000
- ・ 2口（200枚） ¥336,000
- ・
- ・
- ・ 5口（500枚） ¥840,000
- ・
- ・
- ・ 10口（1000枚） ¥1,680,000
- ・
- ・
- ・ 20口（2000枚） ¥3,360,000

【協賛メリット】

- ・ 「エンジェル・ピース」からメディアに配信するニュースリリースに、協賛企業名を掲示します。
- ・ 協賛企業様は、社会貢献活動として「チャリティーTシャツプレゼント」へ参加することを広報いただけます。
- ・ 宮城県石巻市立各保育所への贈呈時に、協賛企業名を公開します。
- ・ 「エンジェル・ピース」のホームページ上に、協賛企業名を掲示します。
- ・ 協賛企業様と「エンジェル・ピース」のホームページを相互リンクで貼ることができます。
- ・ 「エンジェル・ピース」が開催する各種イベント（音楽コンサート等）に特別ご招待します。

『グラウンドワーク三島』の概要

グラウンドワーク三島は、富士山の麓、静岡県三島市に拠点を置くNPOで、平成4年より20年間にわたり活動を続けています。

最大の成果は、ドブ川化した三島市の真ん中を流れる源兵衛川の水辺再生活動で、幅広い市民の力を束ねることによって、25年以上にわたる環境悪化から川を甦らせ、新たな水辺環境を創造することに成功したことです。

この水辺環境の再生から始まった活動は、環境再生から地域再生へと拡大し、毎年約2,500人・約130団体が国内外から視察に訪れるなど、日本におけるパートナーシップ型の環境・まちづくり活動の先導役としての役割を担っています。

平成23年3月11日に東日本大震災が発災したことを受け、グラウンドワーク三島では、地域の市民団体、NPO、行政、企業との協働体制を組織し、救援物資の提供、被災地の子どもや親子を無料招待する「心を元気にするショートツアー」、都会の大学生たちを被災地に派遣して学習支援を行う「大学生出前寺子屋」などを行ってきました。

その後、7月11日に「エンジェル・ピース」という活動組織を立ち上げ、被災地の子どもたちに対し長期的・継続的な応援を行っています。

【主な受賞歴】

年月日	代表表彰者	表彰名
1996年3月	自治省	平成7年度「地域づくり団体自治大臣賞」
1997年11月	自治省	地方自治施行50周年記念「地方自治功労者自治大臣賞」
2004年10月	NPO法人ユニバーサル社会工 学研究会	水辺のユニバーサルデザイン大賞2004 「大賞」
2005年6月	社団法人土木学会 景観・デザイン委員会	デザイン賞2004「最優秀賞」
2005年10月	都市景観の日「実行委員会」 (国土省・経済同友会ほか)	平成17年度都市景観大賞 「美しいまちなみ大賞」
2006年4月	朝日新聞社	第7回「明日への環境省」
2006年10月	財団法人あしたの日本を創る 協会	平成18年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 「内閣総理大臣賞」
2009年4月	フジサンケイグループ	第18回地球環境大賞「環境地域貢献賞」
2010年10月	毎日新聞社	第16回日韓国際環境賞
2011年2月	共同通信社・地方新聞46紙	第1回地域再生大賞「大賞」

*その他、受賞歴多数

東北の子どもたちの元気を応援！



東日本大震災支援活動

1. 心を元気にするショートツアー
2. 大学生出前寺子屋教室
3. 心と体のメデイカルチエツクツアー
4. 子どもを元気に！スポーツ交流
5. 富士山に登って元気になるウツツアー

地域での活動等

NPO法人グロウアップ三島

収益金は、全額、グロウアップ三島を通して、被災地の子どもたちのために使われます。

Angel Peace
3.11

「ハート・グロウアップ」シリーズ（Tシャツ等）の企画・販売

エンジェル・ピース

被災地の子どもたちを
継続的に応援するための支援組織

エンジェル・ピース 被災地応援プロジェクト
「こどもTシャツプレゼント」企業協賛申込書

平成 年 月 日

当社は、エンジェル・ピースの趣旨に賛同し、Tシャツ（ 口）の贈呈に協賛いたします。

エンジェル・ピース 殿

社 名（フリガナ）
代表者名（フリガナ）
印
ご住所（フリガナ）
〒
連絡先ご担当者名
（部署・役職）
（電話）
（eメール）

* 黒または青のインクを使用し、楷書でハッキリお書き下さい